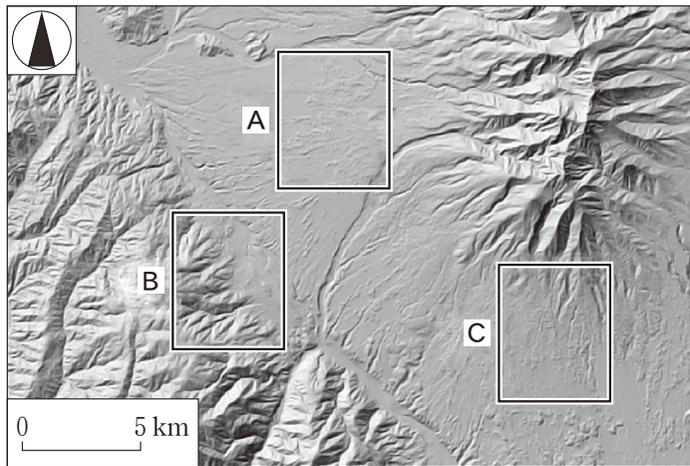


旧地理 A

(解答番号 ~)

第1問 地図の読み取りと活用，および日本の自然災害と防災に関する次の問い
(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 次の図1は，日本のある地域について，陰影をつけて地形の起伏を表現したものである。また，後の図2中のア～ウは，図1中の領域A～Cのいずれかについて，標高1100～1200 mの範囲を示したものである。A～Cとア～ウとの正しい組合せを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。



地理院地図により作成。

図 1

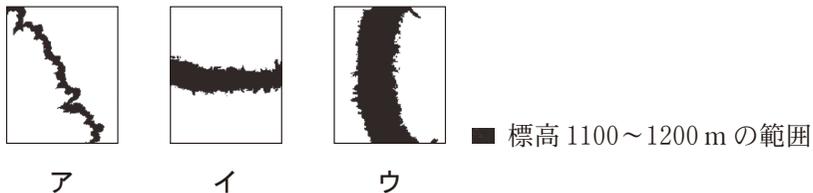
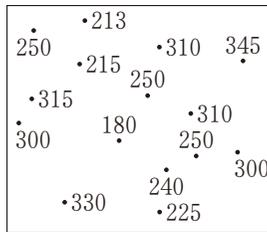


図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

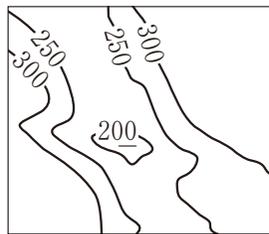
問 2 次の図 3 は、ある地域におけるいくつかの地点の標高を示したものである。この範囲における 50 m 間隔の等高線図*として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 2

*記号 - は、周囲よりも標高が低いところを示す。

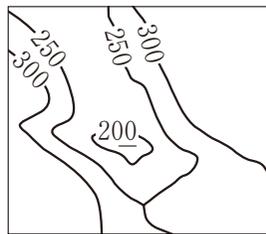


単位は m。

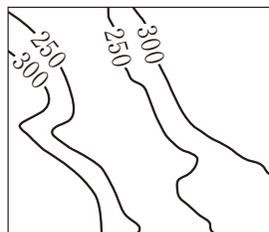
図 3



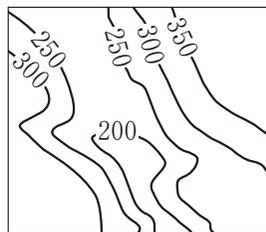
①



②



③

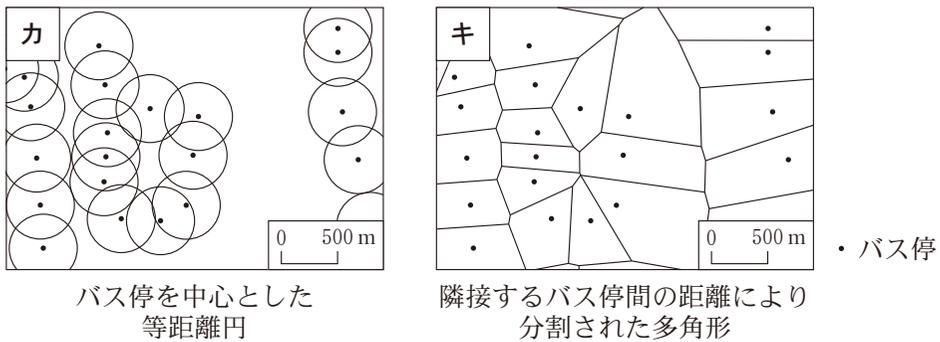


④

旧地理 A

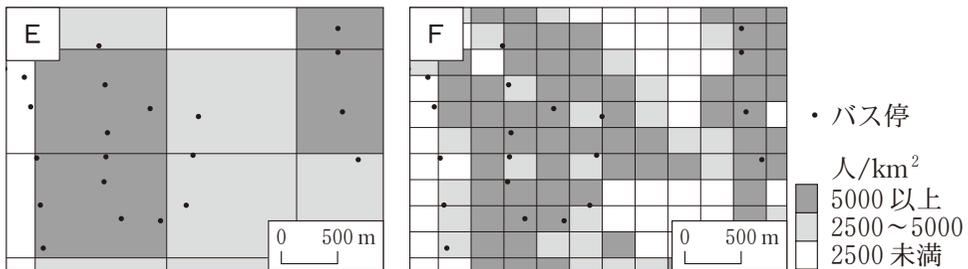
問 3 次の図 4 は、ある地域のバス停の分布を示したものであり、カとキは、異なる空間分析の手法を示したものである。また、後の図 5 は、図 4 と同じ範囲のバス停の分布と人口密度の分布を重ねて示したものであり、E と F は、人口密度を異なる大きさのメッシュで示したものである。バス停から 300 m 以上離れた地域に住む人口を、GIS を用いて高い精度で推計するための分析の手法とメッシュとの組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

3



国土数値情報により作成。

図 4

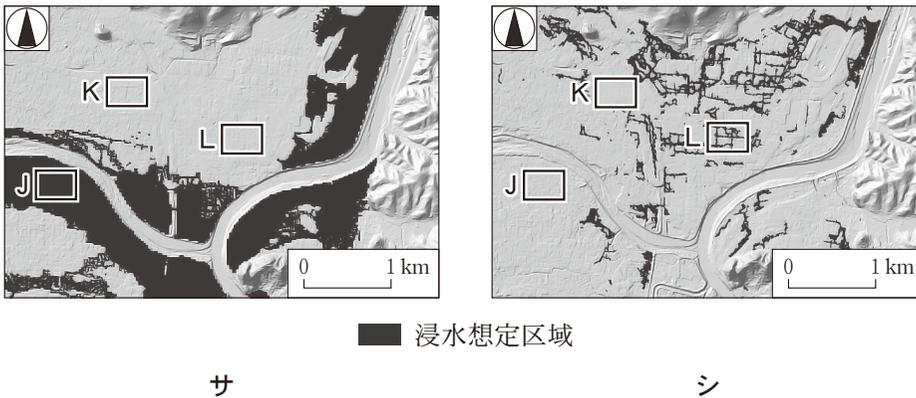


国勢調査などにより作成。

図 5

	①	②	③	④
分析の手法	カ	カ	キ	キ
メッシュ	E	F	E	F

問 4 次の図 6 は、日本のある都市域について、陰影をつけて地形の起伏を表現した図である。図 6 中のサとシは、排水設備の能力を上回る強雨による浸水想定区域図と、河川堤防決壊による浸水想定区域図のいずれかである。また、後の文章は、図 6 に関することがらについて述べたものであり、空欄 x にはサとシのいずれか、空欄 y には図 6 中の領域 J ~ L のいずれかが当てはまる。空欄 x と y に当てはまる記号の組合せとして最も適当なものを、後の①~⑥のうちから一つ選べ。 4



自治体の資料などにより作成。

図 6

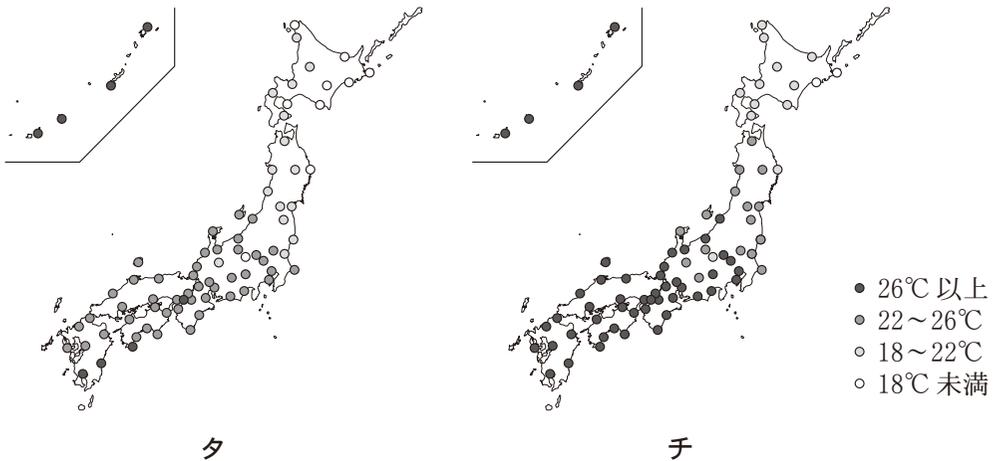
河川堤防決壊による浸水想定区域を示す(x)をみると、主に低地が浸水することがわかる。台風によってこの都市とその周辺の広範囲に大雨が降った際には、図 6 中の領域 J ~ L のうち、(y)が最も浸水しにくいと考えられる。

	①	②	③	④	⑤	⑥
x	サ	サ	サ	シ	シ	シ
y	J	K	L	J	K	L

旧地理 A

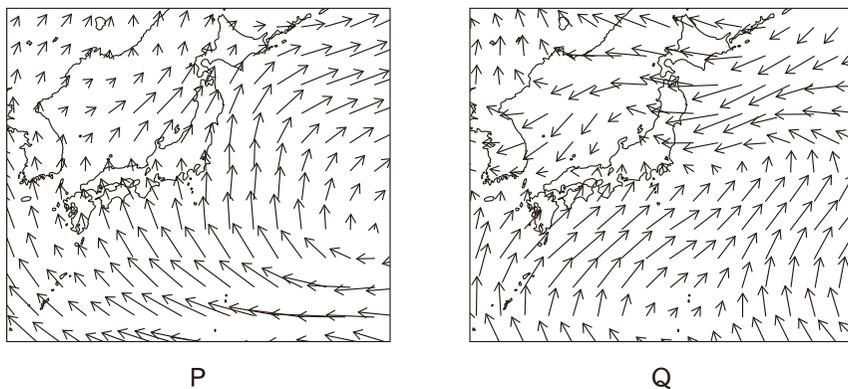
問 5 日本の夏季の天候は年によって異なる。次の図 7 は、7～8月の平均気温の分布を示したものであり、**タ**と**チ**は太平洋高気圧とオホーツク海高気圧のいずれかが平年よりも発達した年を示したものである。また、後の図 8 中の P と Q は、そのいずれかの年の 7～8 月における、日本周辺の地表付近の平均的な風向・風速を示したものである。オホーツク海高気圧が発達した年における、気温と風向・風速との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

5



気象庁の資料により作成。

図 7



矢印の向きは風向，長さは風速を示す。NOAA の資料により作成。

図 8

	①	②	③	④
気 温	夕	夕	チ	チ
風向・風速	P	Q	P	Q

問 6 気象警報は、重大な災害が発生する恐れのあるときに発表され、発表基準はそれぞれの地域で異なる。次の表 1 は、秋田市、長野県松本市、鹿児島市のいずれかの気象観測地点における、暴風警報発表基準と大雪警報発表基準を示したものである。地点名とマ～ムとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

6

表 1

	暴風警報発表基準 風速(m/秒)	大雪警報発表基準 12 時間降雪量(cm)
マ	25	10
ミ	19	35
ム	17	20

気象庁の資料により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
秋田市	マ	マ	ミ	ミ	ム	ム
松本市	ミ	ム	マ	ム	マ	ミ
鹿児島市	ム	ミ	ム	マ	ミ	マ

旧地理 A

第 2 問 世界の生活・文化に関する次の問い(問 1～6)に答えよ。(配点 20)

問 1 次の写真 1 中のアとイは、後の図 1 中の A と B のいずれかの都市において、信仰されている代表的な宗教と関連の深いマーケットの様子を撮影したものである。また、後の文章 s と t は、アとイのいずれかについて述べたものである。B に該当する写真と文章との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

7



ア



イ

写真 1



図 1

旧地理 A

s 日の出から日没まで飲食ができない時期に開かれる。屋台では料理などが売られ、買ったものは持ち帰って日没後に食べる。

t 毎年 12 月頃に 1 か月近く開催される。食料品や日用品などを売る屋台が並び、合唱団や音楽隊によるコンサートも開催される。

	①	②	③	④
写 真	ア	ア	イ	イ
文 章	s	t	s	t

問 2 次の文カ～クは、図 1 中の x～z のいずれかの地点周辺で見られる、自然環境に適応した農業について述べたものである。x～z とカ～クとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 8

カ 草丈の短い草原が広がり、農耕には適さない土地であるため、水や草を求めて移動式住居で暮らしながら遊牧を行っている。

キ 夏でも高温になりにくく、年間を通じてある程度の降水量があるため、酪農が行われ、近くの大都市に乳製品などを出荷している。

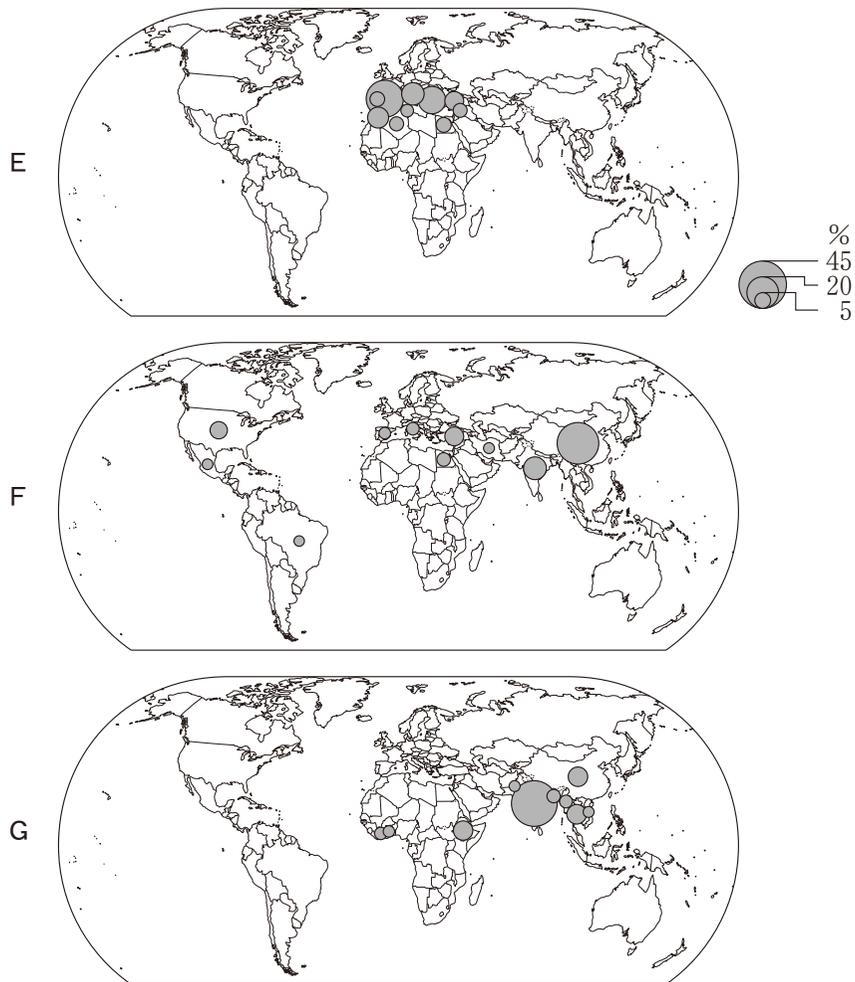
ク やせた赤色の土壌が広がり、焼畑で耕作地を変えながらキャッサバやバナナなどを栽培している。

	①	②	③	④	⑤	⑥
x	カ	カ	キ	キ	ク	ク
y	キ	ク	カ	ク	カ	キ
z	ク	キ	ク	カ	キ	カ

旧地理 A

問 3 次の図 2 は、調味料の原料となるいくつかの農産物について、世界の生産量
 の上位 10 か国と、それらが世界に占める割合を示したものである。図 2 中の
 E～G は、オリーブオイルの原料となるオリーブ、チリソースの原料となるト
 ウガラシ*、ケチャップの原料となるトマトのいずれかである。農産物と E～
 G との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 9

*乾燥と生を含む。青トウガラシは含まない。

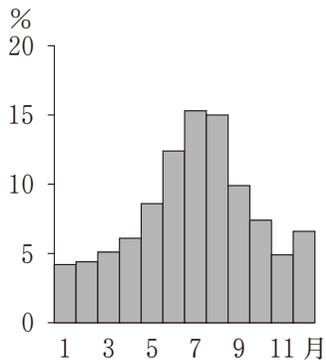


中国の数値には台湾，ホンコン，マカオを含まない。
 統計年次は 2019 年。FAOSTAT により作成。

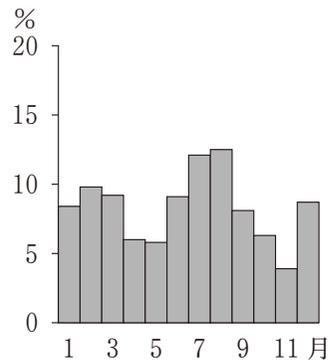
図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
オリーブ	E	E	F	F	G	G
トウガラシ	F	G	E	G	E	F
トマト	G	F	G	E	F	E

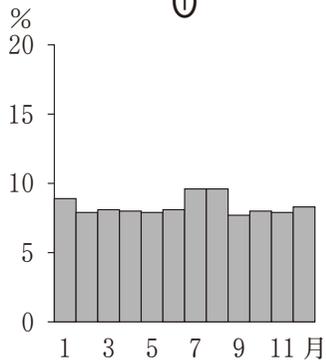
問 4 次の図 3 は、いくつかの国における、2019 年に国外から訪問した観光客数を月別の割合で示したものであり、①～④は、オーストリア、カナダ、シンガポール、ブラジルのいずれかである。カナダに該当するものを、図 3 中の①～④のうちから一つ選べ。 10



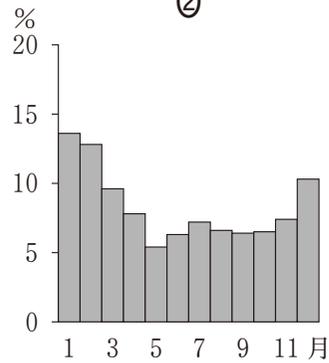
①



②



③



④

UNWTO の資料により作成。

図 3

旧地理 A

問 5 イタリア北部に位置するヴェネツィア(ベネチア)は、1987年に世界遺産に登録された。次の図4は、ヴェネツィアとその周辺の衛星画像である。ヴェネツィア的环境、歴史、生活に関することがらについて述べた文章として下線部が適当でないものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 11



Google Earth により作成。

図 4

- ① ヴェネツィアは潟湖(ラグーン)の中に位置する。潟湖の水深は深く、河川から流れ込む水量が多いため、水質は良好である。
- ② 地域のシンボルであるサン・マルコ広場の周辺には、ヴェネツィアがアドリア海につながる港として繁栄した時代の建築物が並ぶ。
- ③ 本土と島をつなぐ道路と鉄道があるが、島内で自動車の使用は禁止されている。そのため、島内の主な交通手段は、運河などを航行する船や徒歩である。
- ④ 2024年からヴェネツィアは観光客から入島税を徴収している。その背景には、観光客の増加による住民生活への悪影響がある。

問 6 世界の言語には、多くの国で用いられているものがある。次の表 1 は、アラビア語、英語、スペイン語、フランス語について、それぞれが主要な言語として用いられている国の数*を地域ごとに示したものである。表 1 中のサ～スはアジア、アフリカ、南アメリカのいずれか、P と Q はアラビア語とスペイン語のいずれかである。アジアとスペイン語との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 12

*主要な言語が複数ある場合は、それぞれの言語で複数カウントされている。

表 1

	主要な言語			
	P	Q	英 語	フランス語
北・中央アメリカ	11	0	13	3
サ	9	0	2	0
ヨーロッパ	2	0	3	7
シ	1	13	23	26
ス	0	12	10	1
オセアニア	0	0	16	1

2023 年時点。外務省の資料により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
アジア	サ	サ	シ	シ	ス	ス
スペイン語	P	Q	P	Q	P	Q

旧地理 A

第 3 問 北・中央アメリカに関する次の問い(問 1～6)に答えよ。(配点 20)

問 1 次の図 1 は、北・中央アメリカを示したものである。また、後の図 2 は、図 1 中の A～D のいずれかの範囲における気候帯*の分布を拡大して示したものである。図 1 中の B に該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。

13

*ケッペンの気候区分による。

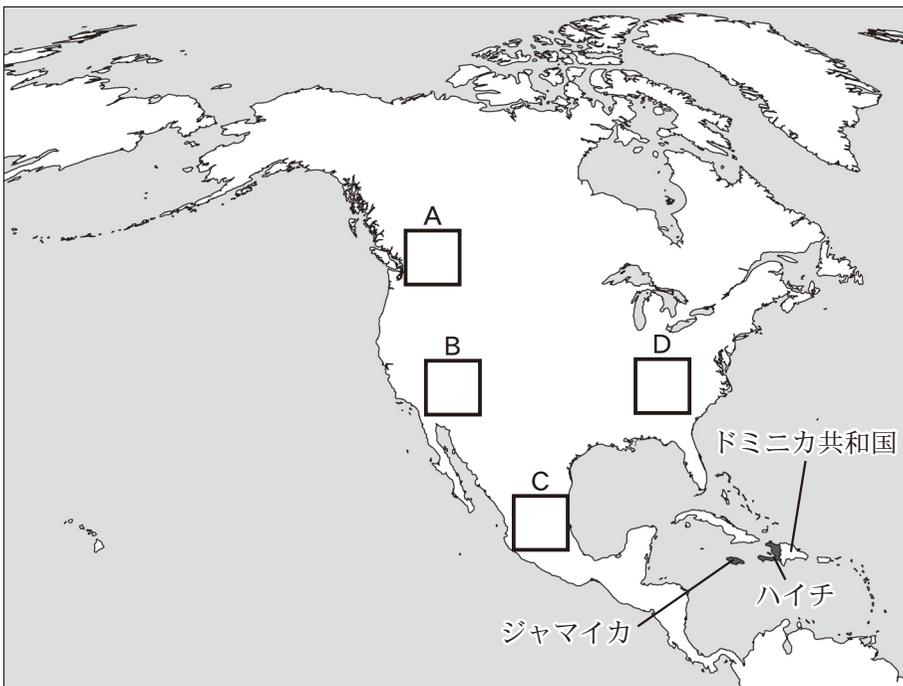
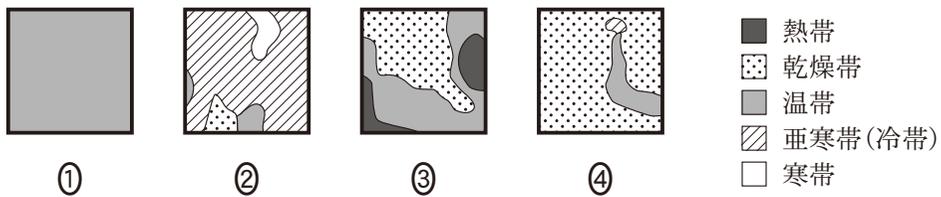


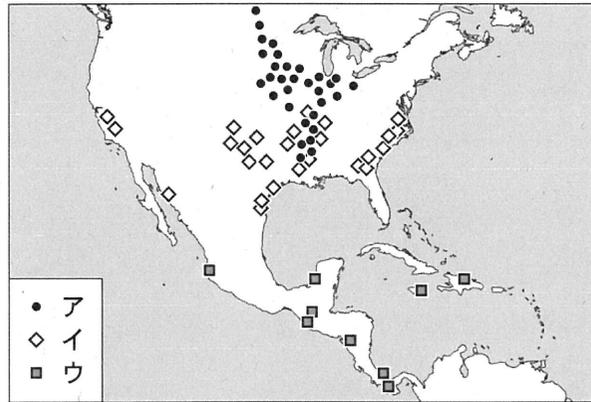
図 1



Chen and Chen (2013) により作成。

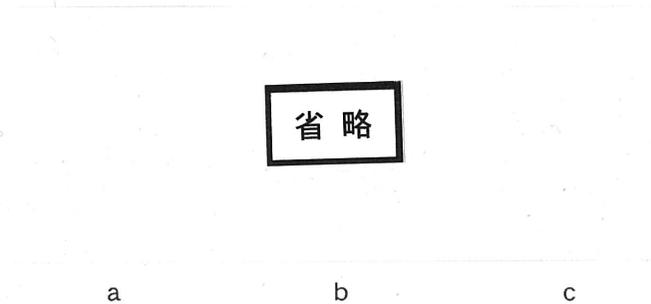
図 2

問 2 次の図 3 は、北・中央アメリカにおけるいくつかの農産物の主な産地を示したものである。また、後の図 4 中の a ~ c は、図 3 中の凡例ア ~ ウのいずれかの農産物を模式的に示したものである。ア ~ ウと a ~ c との組合せとして最も適当なものを、後の① ~ ⑥のうちから一つ選べ。 14



Diercke Weltatlas, 2015 により作成。

図 3



星川清親『改訂増補 栽培植物の起原と伝播』による。

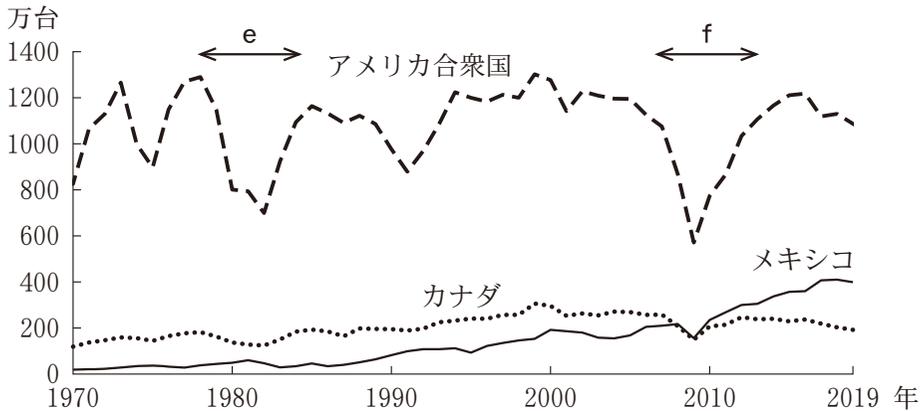
図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	a	a	b	b	c	c
イ	b	c	a	c	a	b
ウ	c	b	c	a	b	a

旧地理 A

問 3 次の図 5 は、1970 年から 2019 年にかけてのアメリカ合衆国、カナダ、メキシコにおける自動車生産台数の推移を示したものである。図 5 に関することがらについて述べた文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。

15



Ward's Automotive Yearbook, 2020 により作成。

図 5

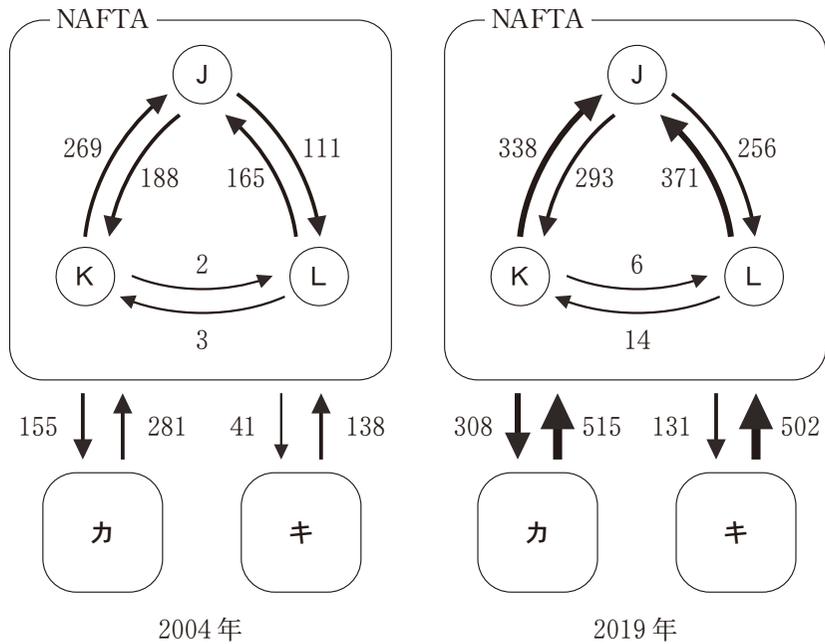
アメリカ合衆国においては、1970 年代以降、グローバルな要因が生産台数に影響を及ぼしている。例えば、図 5 中の e の時期には、①燃費の良い日本製の自動車の輸入が増加した。また、f の時期には、②国内に端を発する金融危機により消費市場が縮小した。

一方、カナダの自動車産業は、アメリカ合衆国との関係が強い。自由貿易協定を背景に、③アメリカ合衆国から部品を輸入し、生産した完成車を国外へ輸出してきた。

また、1990 年代以降メキシコでの自動車生産台数が増加している。この理由の一つに、④高度な技術をもつ労働力を求めて国外から自動車企業が進出したことがあげられる。

問 4 次の図 6 は、2004 年と 2019 年のアメリカ合衆国、カナダ、メキシコにおけるそれぞれの国に対する輸出額と、NAFTA (北米自由貿易協定)* における EU および中国**との間の輸出額を示したものである。図 6 中の J ~ L は、NAFTA を構成するアメリカ合衆国、カナダ、メキシコのいずれか、カとキは、EU と中国のいずれかである。メキシコと中国との正しい組合せを、後の①~⑥のうちから一つ選べ。 16

*NAFTA に代わり、2020 年に USMCA (米国・メキシコ・カナダ協定) が発効した。
**台湾、ホンコン、マカオを含まない。



単位は 10 億ドル。Direction of Trade Statistics により作成。

図 6

	①	②	③	④	⑤	⑥
メキシコ	J	J	K	K	L	L
中国	カ	キ	カ	キ	カ	キ

旧地理 A

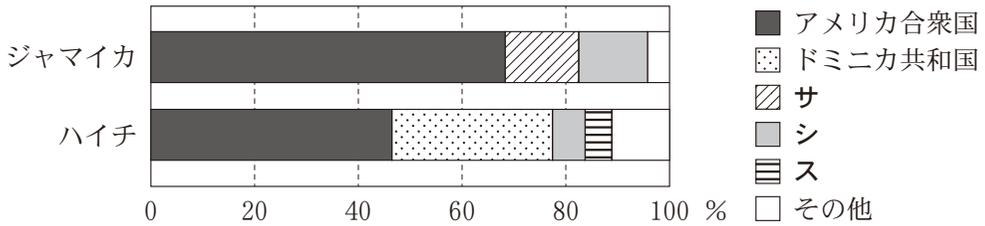
問 5 次の表 1 は、朝の挨拶と感謝の言葉をいくつかの言語で示したものである。

また、後の図 7 は、図 1 中のジャマイカとハイチからの移民*について、移住先の国別割合を示したものであり、凡例サ～スは、イギリス、カナダ、フランスのいずれかである。国名とサ～スとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 17

*居住国において、外国生まれ、あるいは外国人として登録された居住者。

表 1

	朝の挨拶	感謝の言葉
英 語	Good morning	Thank you
ジャマイカ・クレオール語	Gud mawnin	Tank yu
フランス語	Bonjour	Merci
ハイチ・クレオール語	Bonjou	Mèsi

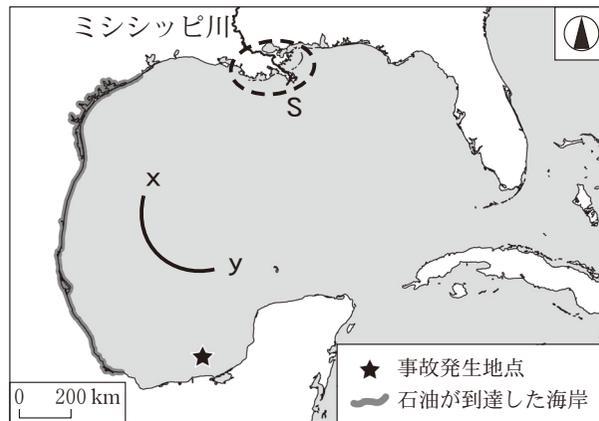


統計年次は 2019 年。国際連合の資料により作成。

図 7

	①	②	③	④	⑤	⑥
イギリス	サ	サ	シ	シ	ス	ス
カナダ	シ	ス	サ	ス	サ	シ
フランス	ス	シ	ス	サ	シ	サ

問 6 次の図 8 は、メキシコ湾周辺の地形と、1979 年に発生した石油流出事故について、その発生地点と石油の到達状況を示したものである。図 8 に関することがらについて述べた文章中の空欄タとチに当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 18



Ji et al. (2021) などにより作成。

図 8

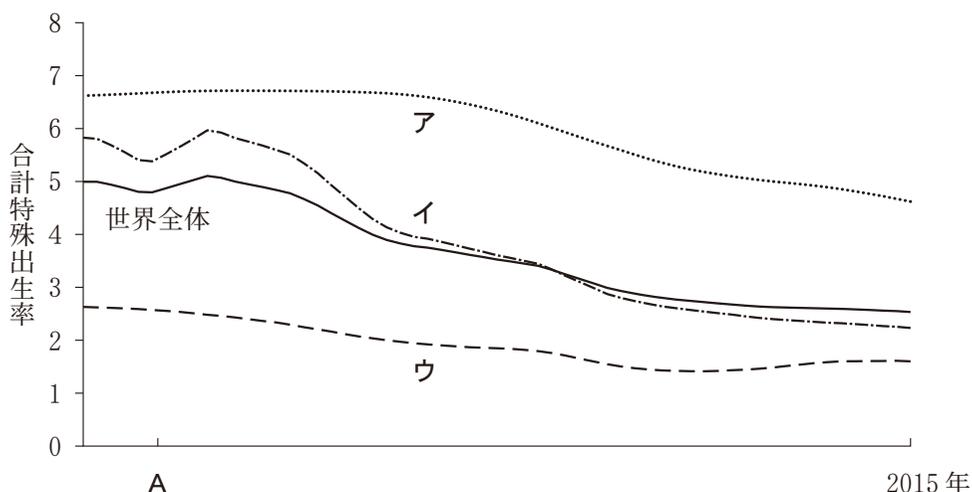
沿岸域における物質の移動状況や地形から、海流の流れの特徴を見いだすことができる。S でみられる特徴的な三角州の形状から、その付近は遠浅で、潮の流れが(タ)ことがわかる。また、石油の到達状況から、海流は(チ)の方向に流れていると考えられる。

	①	②	③	④
タ	遅い	遅い	速い	速い
チ	x から y	y から x	x から y	y から x

旧地理 A

第 4 問 ミオさんたちは、人口問題がエネルギー問題や食料問題などの地球的課題とかかわっていることに注目し、探究を進めた。ミオさんたちの探究に関する次の問い(問 1～6)に答えよ。(配点 20)

問 1 ミオさんは、世界の出生率の変化を調べた。次の図 1 は、世界全体といくつかの地域における合計特殊出生率の変化を示したものであり、凡例ア～ウは、アジア、アフリカ、ヨーロッパのいずれかである。また、図 1 の横軸の右端は、2015 年を示したものであり、A は、1960 年と 1990 年のいずれかである。アフリカに該当する凡例と、A に該当する語句との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 19

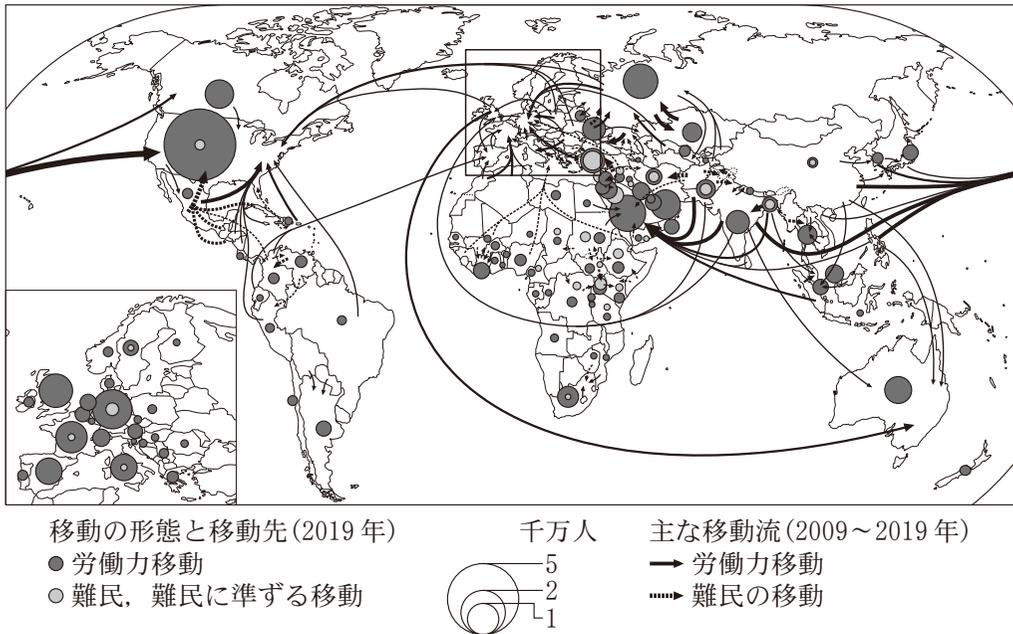


各年次の値は、当該年と前後各 2 年の計 5 年間の平均。
World Population Prospects により作成。

図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
アフリカ	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
A	1960 年	1990 年	1960 年	1990 年	1960 年	1990 年

問 2 チヒロさんは、様々な理由によって国境を越える人々の移動がみられることに関心をもった。次の図 2 は、現代世界でみられる主な人口移動の様子を示したものである。図 2 に関することがらについて述べた文として適当でないものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 20



Diercke Weltatlas, 2022 により作成。

図 2

- ① 先進国からの労働力移動のほとんどが先進国に向かっているのは、高度な知識や技術などをもつ労働者の移動が多いためである。
- ② 南アジアから多くの労働者が西アジアに流出しているのは、家事労働や介護の雇用機会を求めて移動する女性が多いためである。
- ③ アフリカや西アジアで難民としての流出が多いのは、紛争や政治問題などの理由により、他国への移動を余儀なくされた人々が多いためである。
- ④ 日本に向かう移動が少ないのは、日本が単純労働者の受け入れを制限しているためである。

旧地理 A

問 3 チハヤさんは、発展途上国の大都市で様々な問題が生じていることに注目し、タイの首都バンコクのスラムについて調べ、次の資料 1 にまとめた。資料 1 に関することがらについて述べた文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないもの**を一つ選べ。 21

資料 1



バンコク市街地の様子

タイにおける隣接国からの
移民滞在者数

(単位：万人)

	2014 年	2017 年
ミャンマー	103	206
カンボジア	34	72
ラオス	12	22

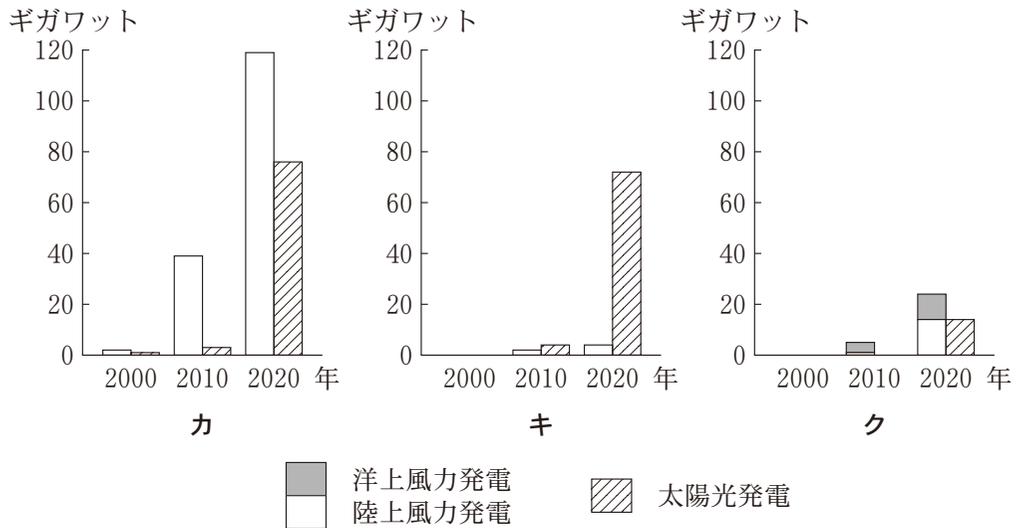
UN Thailand Migration Report 2019 などにより作成。

バンコクの市街地では、高層ビルが建ち並ぶ一方、低層住宅が密集するスラムもみられる。① バンコクでは経済発展が進み、農村部との経済格差が生まれ、農村部から多くの人口が流入した。その際、生活に適さない場所にも人が住むようになり、スラムが拡大した。このことは、② 経済格差が、都市内部においても顕著にみられることを示している。

近年、隣接国であるミャンマーやカンボジアなどからタイに移住する人々が急増している。その背景には、③ ASEAN 域内では、パスポートを提示することなく各国間を自由に移動できる協定が結ばれたことがあげられる。国内外からの移住者は、④ 露天商やごみ分別、日雇いなど、不安定で低賃金の仕事に就くことが多い。

問 4 ミオさんは、多くの人口を支えるために必要なエネルギーについて、再生可能エネルギーへと転換する動きがみられることに着目した。次の図 3 は、いくつかの国における太陽光と風力の発電設備容量*の変化を示したものであり、カ～クは、日本、アメリカ合衆国、イギリスのいずれかである。国名とカ～クとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 22

*設備の設計上可能な、単位時間当たりの発電量。



IRENASTAT により作成。

図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
日本	カ	カ	キ	キ	ク	ク
アメリカ合衆国	キ	ク	カ	ク	カ	キ
イギリス	ク	キ	ク	カ	キ	カ

旧地理 A

問 5 チヒロさんは、世界の人口を支える食料の供給に着目し、主な国の穀物自給率について調べた。次の表 1 は、世界の 4 つの国におけるいくつかの穀物の自給率を示したものであり、サ～スは、小麦、米、トウモロコシのいずれかである。作物名とサ～スとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

23

表 1

(単位：%)

	サ	シ	ス
アメリカ合衆国	164.4	153.8	110.4
韓国	84.5	0.5	0.8
ブラジル	104.5	50.7	147.3
フランス	9.7	165.6	151.3

統計年次は 2020 年。FAOSTAT により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
小麦	サ	サ	シ	シ	ス	ス
米	シ	ス	サ	ス	サ	シ
トウモロコシ	ス	シ	ス	サ	シ	サ

問 6 最後に、ミオさんたちは、地球的課題とその解決に向けた取組みについて話し合った。ミオさんたちが話し合った会話文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。 24

先生 「地球的課題に対する様々な取組みを経済や社会、環境の観点からみると、どのような意義があり、また、それにともなってどのような課題が生じると思いますか」

ミ オ 「発展途上国では、人口や経済活動が大都市に過剰に集中し、大気汚染や交通渋滞の深刻化を招きます。大都市から大都市圏外への工業分散政策は、① 大都市内の過密を改善することにつながるけれど、大都市圏外の少子高齢化を加速させると思います」

チハヤ 「スラムをかかえる地域で、スラムの住居を一斉に取り壊し、高層住宅の建設が進められる場合があります。② 都市の衛生環境の向上に貢献するけれど、スラムに住む人々の生活の場を奪うこともあると思います」

ミ オ 「火力発電に代わって、再生可能エネルギーを利用する発電の導入が進められています。③ 風力発電は、化石燃料の使用量を削減することにつながるけれど、風が弱い場所では設置できないという立地上の制約があると思います」

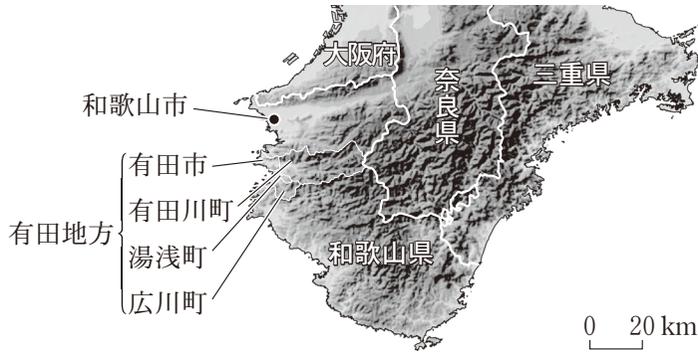
チヒロ 「企業的農業によって大量生産された農産物が世界各地に輸出されています。それは、④ 世界の食料不足を解消することにつながるけれど、自然・社会条件が不利な地域の農業を衰退させることもあると思います」

先生 「どのような解決策が望ましいのか、多面的に考えていく必要がありますね」

旧地理 A

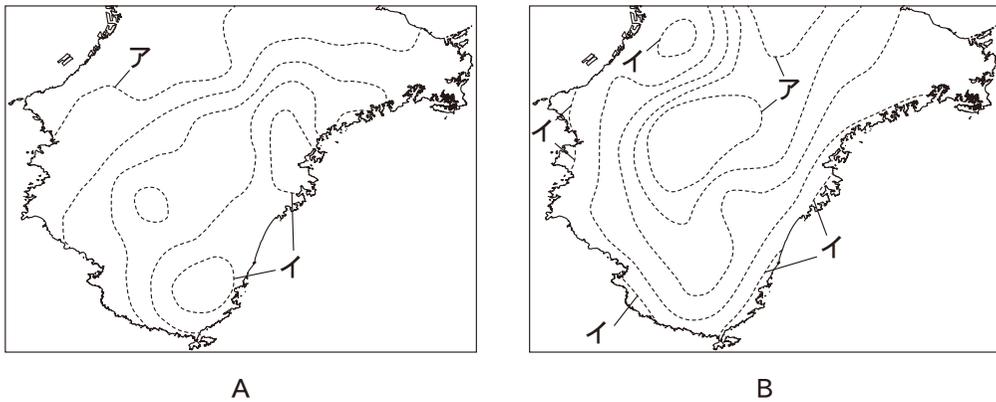
第5問 千葉県の高校に通うユウキさんたちは、和歌山県^{ありだ}有田地方(有田市^{ありだ}、有田川町^{ありだ}、湯浅町^{ありだ}、広川町)の地域調査を行った。この地域調査に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 ユウキさんたちは、紀伊半島^{きい}の自然環境に関する資料を入手した。次の図1は陰影をつけて地形の起伏を表現したものであり、後の図2は気候について示したものである。図2中のAとBは、年降水量と年平均気温のいずれかを等値線で示したものであり、アとイは、AとBの指標について大きい値と小さい値のいずれかを示したものである。年降水量の図と大きい値との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 25



国土数値情報などにより作成。

図 1

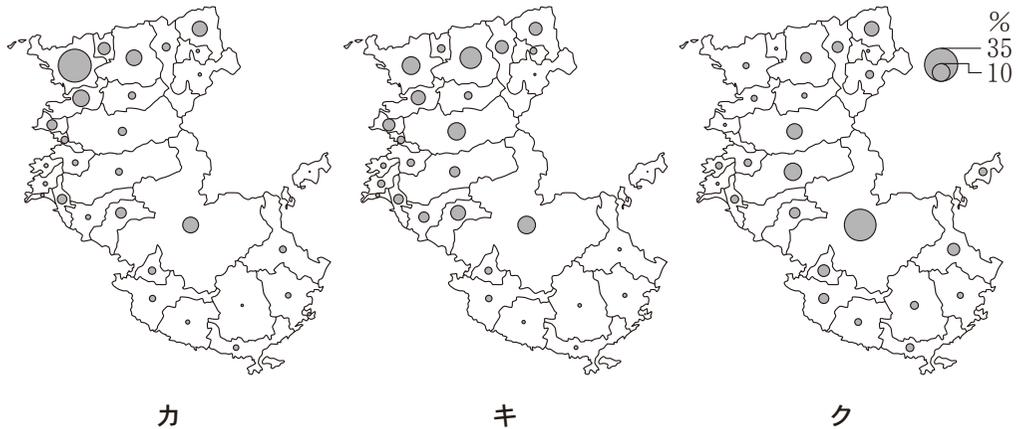


等値線の間隔は年降水量が 500 mm、年平均気温が 1℃。気象庁の資料により作成。

図 2

	①	②	③	④
年降水量の図	A	A	B	B
大きい値	ア	イ	ア	イ

問 2 ユウキさんたちは、和歌山県の産業が自然環境などの影響を受けていることに注目した。次の図 3 は、いくつかの産業について事業所数や経営体数が県全体に占める割合を市町村別に示したものであり、カ～クは、製造業事業所、農業経営体、林業経営体のいずれかである。項目名とカ～クとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 26



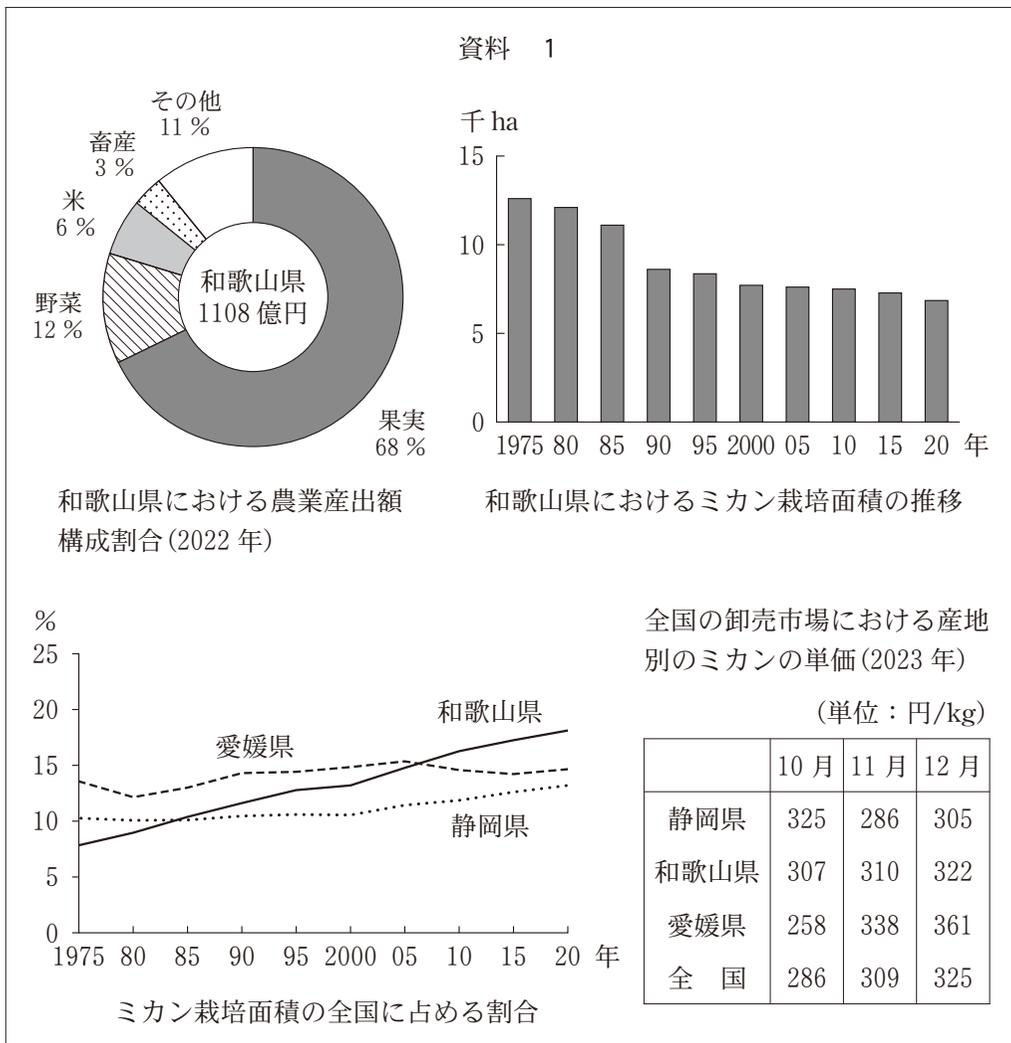
データなしの市町村の値は示していない。
統計年次は 2020 年。和歌山県の資料により作成。

図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
製造業事業所	カ	カ	キ	キ	ク	ク
農業経営体	キ	ク	カ	ク	カ	キ
林業経営体	ク	キ	ク	カ	キ	カ

旧地理 A

問 3 ユウキさんたちは、有田地方のミカン(温州ミカン)栽培に興味をもち、現地で役所の職員への聞き取り調査を行った。次の資料1は、ユウキさんたちが事前に和歌山県のミカン栽培について調べたものであり、後の写真1は、現地の様子を撮影したものである。ユウキさんたちと職員との会話文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。 27



農林水産省の資料などにより作成。



樹園地の様子



選果場の様子

写真 1

職員 「和歌山県は、気候が温暖であり、ミカンやウメの栽培が盛んです。特に有田地方は、県内最大のミカンの生産地です」

ユウキ 「①和歌山県の農業産出額のうち、果実は約3分の2を占めていて、全国に比べてその割合が高いのですね」

職員 「1970～1980年代はミカンの生産を減らす政策がとられたため、和歌山県だけでなく全国的にミカンの栽培面積は減少しました」

ミサキ 「②和歌山県では、ミカン栽培面積の全国に占める割合が1975年に比べて2020年は2倍以上になり、相対的にミカン産地としての比重が増したのですね」

職員 「写真1のように、樹園地の地面に敷かれているマルチシートは、土中の水分を調整しミカンを甘くするはたらきがあります。また、収穫したすべてのミカンの糖度を光センサーで測れるようになりました」

ダイチ 「③生産や選果の技術を向上させたことにより、品質が一定に保たれるようになったのですね」

職員 「農業協同組合により『有田みかん』は商標登録され、主に京阪神や東京方面へ出荷されていますが、昔から農業協同組合以外の販路で出荷する農家もあり、販売方法は多様です」

チナミ 「地域ブランド化することにより、④和歌山県産ミカンは、市場でいずれの産地よりも高値で取引されているのですね」

旧地理 A

問 4 ユウキさんたちは、津波災害の伝承で有名な広川町を訪れ、自然災害とその備えについて現地調査を行った。次の図 4 は、広川町とその周辺の地理院地図であり、後の資料 2 中のサ～スは、図 4 中の地点 J～L のいずれかで撮影した建造物の写真とユウキさんたちが書いたメモである。J～L とサ～スとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 28



地理院地図により作成。

図 4

資料 2

サ



江戸時代の津波襲来時に、避難先となった神社。津波が夕方に襲来したが、稲わらに火をつけて周辺を照らし、多くの命が救われた。神社の一角には、その偉業を後世に伝える石碑がある。

シ



町の中心地を津波から守る堤防。江戸時代の津波襲来後に、将来の津波に備えるため、この地の出身の豪商により築かれた。付近には、堤防の建設に対する感謝を記した石碑がある。

ス



災害時に住民を守る避難タワー。津波だけでなく洪水が発生した時にも活用されることが想定されている。この施設の周辺には農地が広がり、緊急時に施設へたどり着けるように案内表示板がある。

	①	②	③	④	⑤	⑥
J	サ	サ	シ	シ	ス	ス
K	シ	ス	サ	ス	サ	シ
L	ス	シ	ス	サ	シ	サ

旧地理 A

問 5 次にユウキさんたちは、湯浅町を訪れて町並みを調べた。次の資料 3 は、湯浅町の市街地の様子をまとめたものである。また、後の文章タ～ツは、資料 3 中の範囲 P～R の様子について述べたものである。P～R とタ～ツとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

29



地理院地図により作成。

タ かつてにぎわった中心地を通る道が、南北に伸びている。町内初の小学校として使われた施設がある。

チ 東西に伸びる細い道は、かつての砂浜へ出る利便性を考えて造られた。近くには、醤油などを積み出していた堀がある。

ツ 他の二つの範囲に比べて幅の広い道が多く、建物の密集度は低い。3階建て以上の建物もみられる。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	タ	タ	チ	チ	ツ	ツ
Q	チ	ツ	タ	ツ	タ	チ
R	ツ	チ	ツ	タ	チ	タ

問 6 ユウキさんたちは、有田地方と房総半島南部には共通した地域の特性とともに課題があることに気づいた。次の表 1 は、ユウキさんたちがまとめた二つの地域に共通する地域の特性や課題と、それらをふまえた地域活性化に関する案である。地域の特性をいかして地域を活性化させる案として下線部が**適当でない**ものを、①～④のうちから一つ選べ。 30

表 1

共通する地域の特性や課題	地域活性化に関する案
海沿いにある平地は狭く、山が海岸にせまっている	日当たりの良い山の斜面をいかして、 <u>①新たに棚田を造成し、国内の需要に対応したブランド米を生産する。</u>
沖合は漁場に恵まれており、水産資源が豊富である	水揚げされた水産物を販売するだけでなく、 <u>②水産物の特産品を新たに開発し、加工と販売を行い収益を上げる。</u>
近年、海岸沿いに高速道路が整備されている	大都市との行き来が便利になり、日帰り観光客が増加しているので、 <u>③新たに滞在型の観光プログラムを整備し、宿泊客の増加を図る。</u>
大都市から大きく離れていないが、通勤圏から外れている	豊かな自然環境の中で暮らし、就業できるようにするため、 <u>④新たにテレワークに適した施設を整備し、他地域からの移住を促す。</u>